

# 和の光

宝塚市立西谷中学校



BOROさんへ

宝塚市立西谷中学校  
校長 筒井 啓介

この度は、ご多忙な折にも関わらず、西谷中学校へお越しいただき心からお礼を申し上げます。（いつも、私の無理なお願いを快くお引き受けいただき、心から感謝しています）

本校は、全校生徒44名の市内で最も小さな中学校です。子どもたちは幼い頃から気心の知れた仲間と過ごしてきており、ある意味 絆や友情が深く、他の学校に比べても素直な生徒が多いです。しかし、互いに切磋琢磨したり、自分の思いを表現したりすることを苦手とする生徒が多いのが現状です。

今日のBOROさんの講演を通して、まずは私自身が勇気をいただいたこと、自分の使命について改めて考える機会になりました。また、子どもたちの感想を読めると、BOROさんのお話と歌を通して、夢や希望、誰にも生きる使命があることなど、教師が教えなくても自然に感じ取れたようです。改めて、BOROさんの偉大さを実感させられました。

また、本校吹奏楽部の演奏をお聴きいただき、講評までしていただいたことは、部員と顧問の先生方の大きな励みになったと思います。心からお礼を申し上げます。

講演会にはたくさんの保護者・地域の方々も参加いただき、子どもたちと共に「生きることの素晴らしさ」など、歌とトークを通して学ぶ機会となりました。「森の中の学校」と褒めていただきましたこと、心から感激しました。大人も子どもも、「わが町西谷に誇りが持てるきっかけ」になったことと思います。まだまだ、暑い日が続きますがお身体を大切に、ご活躍ください。BOROさん優子さんの益々のご活躍をお祈りし、お礼の詞といたします。

いつの日か、西谷中で再会できること、吹奏楽部との共演ができることを全校生徒・教職員・保護者・地域のみなで願っています。（2024年7月16日）



心温まる歌・トークに盛り上がりました

## ■進路学習講演会「西谷中生、BOROと一緒に夢を語ろう！！」～報告6～

小学生からBOROさんに向けての感想をたくさん書いていただきました。この感想は後日、BOROさんにお届けします。（下記にその感想を紹介させていただきます）

★あやかちゃんのお洋服かわいいな、それタン・タン・タン…が、誰でも参加できてとても良いなと思いました。BOROさんの由来は自転車のボロだと知ってびっくりしました。（小6）

★BOROさんはいろいろな病気を背負っていても、負けずにシンガー・ソングライターになってカッコイイと思いました。歌だけではなく募金活動もしていて、すごいなと思いました。（小6）

★BOROさんはたくさんの人たちに歌をつくり、歌っていることを知りました。みんなで歌って、リズムに合わせて手をたたくなど、自分たちも楽しめるコーナーがあって楽しかったです。BOROさんの元気な歌声から私たちも元気をもらいました。また、学校に来てください。（小6）

★BOROさんの名前の由来を聞くまでは、なぜBOROになったのか分からなかったけれど、由来を聞いて納得しました。そして、話の内容にとっても感動しました。また、西谷小・中学校に来てくれるとうれしいです。（小6）

★BOROさんは、音楽の力で元気を取り戻す力があるからすごいと思いました。一度、自分で池に入って自殺しようと思ったけれど、お母さんのことを思い出して夢をあきらめずに生きてきたのがすごいと思い尊敬しました。BOROさんはボロボロになった自転車を大切に使っていたのですすごいなと思いました。BOROさんはハーモニカを吹きながらギターをひき、歌も歌っていたけど、どれくらい練習をしたのかと思いました。（小6）

★今日は講演会を有難うございました。子どもたちや若い保護者さんはBOROさんのことを知らない人が多いと思いますが、私は知っている世代（でもお歳を聞いたら、母と1つ違いでした）30年近く前ですが、コミュニティFM（FMちゃお）で働いていた時に、毎日のように「大阪で生まれた女」をリクエストしていたリスナーさんがいらっしゃって、今日生歌で拝聴できたことを一人感慨深く思っていました。若く通る声がステキでした！ また、「AYAKA基金」など多彩な活動を現役でされていることを知り、私も世のためにもっとできることをしなければと、励みになりました。これからもお元気で沢山の人にパワーを末永く与えてご活躍ください。本日は有難うございました。（教職員）

★暑い中、素敵な歌声とお話を有難うございました。人と人との繋がりを大切にされていることがお話と歌声から伝わってきて、心にしみ入りました。「人はそれぞれ使命を持っている」私もそう思っています。自分の使命は何か、「目の前に居てくれる子どもたち一人ひとりの使命を信じ、共に学び共に成長していくこと」と考え、日々取り組んでいます…が、失敗の連続です。でも子どもたちからもらうエネルギーは大変大きいです。1年生になりたてで、まだまだじっとできず、BOROさんには失礼しました。けれど教室に戻って感想を聞くと、みんな「歌がきれいだった」「覚えて歌っていてすごかった」と伝えてくれました。BOROさんが1年生に名前を聞いてくださった2人目の女の子の名前が「あやか」でした。偶然かも知れませんが、私にはご縁と感じました。まだまだお元気に歌い続けてくださることを願っています。有難うございました。

（教職員）

★BOROさんが幼少期に病弱だったというお話を聞き、「例え病気であっても負けない、やりたいことをやるんだ」という気持ちになった子どもたちが多かったのではないかと思います。BORO様のお母さまの言葉「みんなに使命がある」が深く心に残っています。小学校の教職員として、それぞれに才能を持った子どもたちが花開くように支えられたらな、と思いました。大変暑い中でしたが、心に響く歌を有難うございました。（教職員）